

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	土井 恵美	講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。 札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当 コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格も保有しています						

【授業を通じての到達目標】

プロフェッショナルへの道の授業を通じて学年目標、クラス目標、個人目標を達成する
よりよい学校生活を送るための身構え、気構え、心構えを身に付ける
コミュニケーションスキルアップ検定合格を目指す

【学習内容】

目標設定をして振り返りを行う
社会人の基礎力を身に付け、2年生の就職活動に向けての基本、知識を学びます

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具
"就職活動"冊子・"新社会人の基礎力"冊子(この2冊は常に準備しておくこと)
→最初の授業で担任から配布します

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/19)	【到達目標】 オリエンテーション クラス、個人の目標設定 技術アドバイス&トークルームについて シラバス・学年歴スケジュール確認 就活の教科書配布 ～社会人と学生の違いについて～	⑨ (6/21)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業②
② (4/26)	【到達目標】 就活の教科書 ～業界について知ろう～ GWの課題確認 セレクト授業について GW明けの個人面談について	⑩ (6/28)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業③
③ (5/10)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より① TAT紹介	⑪ (7/5)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業④(模擬試験)
④ (5/17)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より② コミュニケーションスキルアップ検定 願書記入	⑫ (7/12)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定 試験日 夏休み課題確認 東京研修について(事前情報共有)
⑤ (5/24)	【到達目標】 新社会人基礎力の教科書より③ 地域清掃	⑬ (7/19)	【到達目標】 夏休み課題提出発表 夏休みの過ごし方について 国家試験について
⑥ (5/31)	【到達目標】 Hand of LIFE STYLEの教科書より プロの職業人教育を目指すにあたって①②	⑭ (8/23)	【到達目標】 初の定期試験に向けて再度細かいルールの確認 新社会人基礎力の教科書より④
⑦ (6/7)	【到達目標】 Hand of LIFE STYLEの教科書より プロの職業人教育を目指すにあたって③④ 1S後期/挨拶係	⑮ (8/30)	【定期試験】60 定期試験 新社会人の基礎力より出題 入学して半年経って振り返りの提出 今後の予定の確認 席替え
⑧ (6/14)	【到達目標】 コミュニケーションスキルアップ検定対策授業① 後期カスタマイズ授業について	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容実習 I (カット&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太、土井 恵美 (ON THE林、fika葛西、 asterisk佐藤)	講師 プロフィール	大澤:原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わる。 土井:大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。現在は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。						

【授業を通じての到達目標】

基本となる何種類かのカットスタイルの切り方を習得しクリエイティブなカットスタイルまでできるようにする

【学習内容】

実際にウィッグを使ってカットしブロースタイリングを学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

カットシザー道具一式(シザー、コーム、ダッカー、スプレイヤー、デンマンブラシ、ドライヤー、タオル4枚程度)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/15,16)	オリエンテーション 自己紹介 今後の授業の流れと道具説明	⑨ (6/18,24)	ワンレングス3回目 ショートレングス ブロー
② (4/22,23)	レイヤーカット1回目デモ 実際に切ってみる	⑩ (6/25,7/1)	ワンレングス4回目 ブロー チェックカットを学ぶ
③ (5/7,13)	レイヤーカット2回目	⑪ (7/2,8)	ワンレングス5回目 チェック ワンレングスをデザインする
④ (5/14,20)	レイヤーカット3回目 レイヤーのブロー	⑫ (7/9,22)	グラデーション デモ 実際に切ってみる
⑤ (5/21/27)	レイヤーカット4回目 ブロー 質感調整を学ぶ	⑬ (7/16,8/19)	グラデーション2回目 ブローデモ
⑥ (5/28,6/3)	レイヤーカットチェック レイヤースタイルにデザインする	⑭ (8/20,26)	グラデーション3回目 チェックカット
⑦ (6/4,10)	ワンレングス デモ 実際に切ってみる	⑮ (8/27,9/2)	【定期試験】60 グラデーション テスト フィードバック
⑧ (6/11,17)	ワンレングス2回目 ブローデモ	【成績評価の方法と基準】	
		<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	美容実習 I (ヘアアレンジ & メイク)	必修 選択の別	選択	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤慶太、土井恵美 園田翔太郎 (メイクアップアトリエ)	講師 プロフィール	大澤:美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり現在に至る。 土井:大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。コンテスト 経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。 園田:サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積んだ経験を活かし、ベルエポックで学生教育 に携わる。						

【授業を通じての到達目標】

基本的なヘアアレンジ技術&メイク技術を身につけ、作品く創りや撮影に必要な技術を身につけることができる

【学習内容】

美容師として活躍する為に必要な基本的なヘアアレンジとメイクの技術を学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/15、 16)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション(自己紹介、授業の受け方、ルール、評価方法 説明、道具の説明、メイクセッティング)	⑨ (6/18、 24)	【到達目標】小テスト3点 黒ゴムポニーテール ウィッグ(相モデル)
② (4/22、 23)	【到達目標】小テスト2点 ナチュラルメイク 相モデル(スキンケア、ベースメイク)	⑩ (6/25、 7/1)	【到達目標】小テスト3点 アイロンバリエーション ウィッグ(相モデル)
③ (5/7、 13)	【到達目標】小テスト2点 ナチュラルメイク 相モデル(前回の復習、ベースメイクのバ リエーション)	⑪ (7/2、8)	【到達目標】小テスト3点 アイロンバリエーション ウィッグ(相モデル)
④ (5/14、 20)	【到達目標】小テスト3点 ナチュラルメイク 相モデル(ポイントメイク)	⑫ (7/9、22)	【到達目標】小テスト3点 編み込み ウィッグ(相モデル)
⑤ (5/21、 27)	【到達目標】小テスト3点 ナチュラルメイク 相モデル(スキンケア~ポイントメイク復 習)	⑬ (7/16、 8/19)	【到達目標】小テスト3点 編み込み ウィッグ(相モデル)
⑥ (5/28、 6/3)	【到達目標】中間テスト5点 ナチュラルメイク 相モデル(フルメイク) 中間テスト	⑭ (8/20、 26)	【到達目標】小テスト3点 ピン打ち
⑦ (6/4、 10)	【到達目標】小テスト2点 ゴールデンプロポーション セルフ ※定規	⑮ (8/27、 9/2)	【定期試験】60 定期試験
⑧ (6/11、 17)	【到達目標】小テスト3点 ゴールデンプロポーション 相モデル ※定規	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容実習I(カラーリングデザイン)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤慶太、土井恵美 (生井、高井、高橋、福 士、望月)	講師 プロフィール	大澤:原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わる。 土井:大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。現在は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり、美容実習、美容技術理論の資格を保有。						
【授業を通じての到達目標】									
じカラーの技能・技術を幅広く身につけ、年度末のコンテストで自分の表現したいことを表現できるようになる。									
【学習内容】									
カラーの基礎技術、基礎知識の習得。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
カラーに必要な道具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/ 15.16)	【到達目標】 自己紹介、サロン紹介、シラバスの確認、道具の確認				⑨ (6/ 18.19)	【到達目標】 ブリーチ理論、選定			
② (4/ 23.24)	【到達目標】 カラー理論(色の三原色、カラー材の種類など)				⑩ (6/ 25.26)	【到達目標】 ブリーチの塗布展示。塗布の手順注意点を確認後、実際にウィッグに塗ってみる			
③ (5/7.8)	【到達目標】 ワンカラーの塗布展示により刷毛の使い方、塗布の手順を知ってもらい、その後ウィッグにトレーニングクリームを塗布				⑪ (7/2.3)	【到達目標】 自分で選定したカラー材をふウィッグに塗布			
④ (5/ 14.15)	【到達目標】 前回のウィッグ塗布を基礎にウィッグにカラー材(ハイライトナー)を塗布				⑫ (7/9.10)	【到達目標】 ブリーチの塗布を60分で測りながら塗布			
⑤ (5/ 21.22)	【到達目標】 カラーの選定方法、リタッチ理論				⑬ (7/ 17.18)	【到達目標】 ブリーチオンカラー。お題の色に染めてみる			
⑥ (5/ 28.29)	【到達目標】 トーンダウン理論、実際にウィッグに塗布				⑭ (8/ 20.21)	【到達目標】 テストに向けて復習			
⑦ (6/5.7)	【到達目標】 相モデル実習①トリートメントを塗ってみる。ウィッグと人頭の違いを知る。				⑮ (8/ 27.28)	【定期試験】60 筆記テスト			
⑧ (6/ 11.12)	【到達目標】 相モデル実習②トリートメントを塗ってみる。ウィッグと人頭の違いを知る。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	北俣 京子	講師 プロフィール	市内サロン就職後、サロンワークで経験を積む その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容学校講師として勤務						
【授業を通じての到達目標】									
授業への取り組み方 基礎的技術を学ぶ									
【学習内容】									
準備片付けを効率よく進め上巻き下巻き姿勢の技術習得									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
WD用具一式・ノート・筆記用具・名札									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/17 4/19	【到達目標】 用具の取り扱い、セッティングの仕方を身につける 二重ゴムができる				⑨ 6/19 6/21	【到達目標】 フロントのブロッキングスライス、 姿勢、ステムを理解し巻ける			
② 4/24 4/26	【到達目標】 ウィックの取り扱い コームの持ち方、回転の仕方 センターブロッキングが取れるようになる				⑩ 6/26 6/28	【到達目標】 右BSのスライス、姿勢、ステムを理解し スムーズに巻ける			
③ 5/8 5/10	【到達目標】 スライス、シェープ、ゴムの掛け方上巻きを身につける				⑪ 7/3 7/5	【到達目標】 右BS、サイド、スライス、シェープを意識し バランス良く収められる			
④ 5/15 5/17	【到達目標】 正しい目線、姿勢、上巻きがスムーズにできる 12ブロッキングができる				⑫ 7/10 7/12	【到達目標】 姿勢、スライス、ステム、シェープを意識し バランス良く収められる			
⑤ 5/22 5/24	【到達目標】 スライス、ステムの理解 正しい姿勢、下巻きができる 12ブロッキング 8分				⑬ 7/17 7/19	【到達目標】 センターのロッドを真っすぐ収め 右BSをバランス良く収められる			
⑥ 5/29 5/31	【到達目標】 下巻きがスムーズに巻ける 上巻き 1本30秒				⑭ 8/21 8/23	【到達目標】 ブロッキング 7分 センター・右BS 25分 時間内完成			
⑦ 6/5 6/7	【到達目標】 ブロッキング 8分 上巻き、下巻きがスムーズに巻ける				⑮ 8/28 8/30	【定期試験】50 バランス良く収め時間内完成 センター・右BS 25分			
⑧ 6/12 6/14	【到達目標】 ブロッキング 7分 センターWD 13分で巻き終わる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (サロンワーク&スタイリング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	園田 翔太郎 (吉田亜紀、渋谷海)	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積む。これらの経験を活かし、ベルエポックで学生教育に携わる。それぞれの経験を生かし即戦力となる技術スキル・人間力を授業を通して学生に伝えていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロン入社後、即戦力となるシャンプー、カラー、パーマ、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力を身につけるとともに美容師としての在り方、考え方を学ぶ。									
【学習内容】									
シャンプー、トリートメント、ドライ、ブロー、スタイリングの基礎技術を学ぶ。 サロンワークに必要な知識、接客、コミュニケーション力を実践しながら学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シャンプー道具一式・カラー道具一式・パーマ道具一式 デンマンブラシ・ドライヤー・アイロン・コテ・タオル・筆記用具 スタイリング剤					定期的な宿題がある場合も有				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/15) (4/16)	【到達目標】 シラバス、授業の進め方・ルール・シャンプー実習室の使い方について理解する。 シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。(ウィッグで手順の確認)				⑨ (6/24) (6/18)	【到達目標】 モデルに合わせたスタイリングを実践することができる。(レディース、メンズ) (ノーセットからスタート) スタイリング→シャンプー			
② (4/22) (4/23)	【到達目標】 シャンプーの基礎手順(動き)について理解する。 泡立て～流しまでの動作を理解する。(ウィッグで実際にやってみる)				⑩ (7/1) (6/25)	【到達目標】 アシスタントとして必要な知識、動きを理解する。 カラーの基礎知識・選定について理解する。 パーマヘルプ、カラーヘルプの動きを理解する。			
③ (5/13) (5/7)	【到達目標】 ドライの動作・手順について理解する。 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデル)				⑪ (7/8) (7/2)	【到達目標】 髪質改善トリートメントを実践し、流れ・技術を理解する。(相モデル) アイロンワークの技術を身につける。			
④ (5/20) (5/14)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデル) ドライを効率良く実践できるようになる。 タオルターバンができるようになる。				⑫ (7/22) (7/9)	【到達目標】 ブローの技術について理解する。 シャンプー～ドライまで実践。			
⑤ (5/27) (5/21)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデル) サロンワークを意識したご案内ができるようになる。				⑬ (8/19) (7/16)	【到達目標】 シャンプーからブロー、スタイリングまでの流れをスピーディーに実践することができる。 (相モデル)			
⑥ (6/3) (5/28)	【到達目標】 シャンプー、トリートメント、ドライの流れを実践してできるようになる。(相モデル) サロンワークを意識したご案内ができるようになる。 ヘッドマッサージについて理解できるようになる。				⑭ (8/26) (8/20)	【到達目標】 定期試験に向けたトレーニング 時間内でシャンプーからスタイリングまでを終えることができるようになる。			
⑦ (6/10) (6/4)	【到達目標】 6/4PM(全クラス) ナブラドリームプラス見学参加 外部のイベントに参加し、感性を磨く				⑮ (9/2) (8/27)	【定期試験】60 シャンプー技術 20分 ドライ～スタイリング技術 40分			
⑧ (6/17) (6/11)	【到達目標】 スタイリングの基礎技術を理解する。(レディース、メンズ) (ノーセットからスタート) スタイリング→シャンプー				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席・遅刻の厳重管理と指導/忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅰ	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	飯嶋 美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き30年目を迎える。これまでの国家試験科目を含む実技授業及びコンテスト指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師としての必要な基礎知識を身につけて、一層興味深く学ぶ意欲を育むことを目標とする。

【学習内容】

美容に関する専門用語・道具・名称・技術手順など、教科書を中心にサロンワークと関連づけて解説する。

【使用教科書・教材・参考図書】

美容技術理論①教科書 ・B5判ノート(専用ノート) ・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

教科書の写真・図の理解を深める。

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】 授業の意味を理解してもらう 授業内容の説明 美容技術者としての心構え・作業姿勢・人体各部の名称を学び理解する。(なぜ必要な知識か考える)	⑨ (6/20)	【到達目標】 ②パーマウェーブ技術の手順を学び理解する。
② (4/25)	【到達目標】 美容用具の名称・選定法・手入れ法・使用目的を学び理解する。(コームの持ち方いろいろ体験)	⑩ (6/27)	【到達目標】 ①ヘアカラーリング剤の種類と染毛のメカニズム・色の基本を学び理解する。
③ (5/9)	【到達目標】 ①シャンプーの目的など施術によって使い分ける技術・シャンプー剤の種類を学び理解する。(エアシャンプー姿勢など体験)	⑪ (7/4)	【到達目標】 ②酸化染毛剤の技術手順とヘアブリーチの違いとポイントを学び理解する。
④ (5/16)	【到達目標】 ②リンス・コンディショナー・トリートメントの違いや成分、スカルプトリートメント・スカルプマッサージを学び理解する。(ウィックを使用してマッサージを体験)	⑫ (7/11)	【到達目標】 ①ヘアセットリング/オールウェーブセットリングの実技に必要な基礎知識を学び理解する。
⑤ (5/23)	【到達目標】 ヘアデザイン(創造力を養う)をお客様に提案できる基礎知識からのプロセスを学び理解する。	⑬ (7/18)	【到達目標】 ②ヘアセットリング/ブロードドライやバックコーミングに必要な基礎知識を学び理解する。
⑥ (5/30)	【到達目標】 ①ヘアカットの目的・基礎理論を学び理解する。(スライス線と長さの関係を体験)	⑭ (8/22)	【到達目標】 美容技術理論①の重要ポイントの強化、復習を中心に進めて定期試験対策を集中的に行う。
⑦ (6/6)	【到達目標】 ②ベーシックな4つのヘアスタイルの特徴とカット技法を学び理解する。	⑮ (8/29)	【定期試験】60点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力を鍛えることを目的とする。
⑧ (6/13)	【到達目標】 ①毛髪の構造とパーマウェーブが形成される仕組みを学び理解する。(パーマ剤の種類と特徴)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	運営管理 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	島 一浩	講師 プロフィール	[職歴] 1984年～2021年：地方公務員(市役所職員) 2021年～：研修講師、経営コンサルタントなど [資格・学位] 国家資格キャリアコンサルタント、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)、NLPプラクティショナーなど、 MBA(経営管理修士)						
【授業を通じての到達目標】									
・美容師国家試験に合格することを目指し、筆記試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答できる能力を身に付ける ・美容師として、また、社会人として活躍するために必要となる社会制度などに関する基礎知識を身に付ける									
【学習内容】									
・美容師国家試験で出題される「運営管理」の問題に正しく解答するために必要な知識・考え方のポイントを習得する ・「経営者」「従業員」「顧客」の3つの視点から美容業についての理解を深め、美容師として活躍し、顧客を満足させるサービスの担い手となるための知識を習得する ・社会人として活躍するために必要な基礎知識を習得し、仕事や社会活動への適応力を身に付ける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
運営管理の教科書、パワーポイントのスライド、補足プリント					宿題・課題は課さないが、適宜、予習・復習を行うこと ・予習～各授業での履修範囲について、教科書の本文を一読する ・復習～各授業の補足プリントの見直しを行う				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 ・「運営管理」の授業について、「授業を通じての到達目標」、「学習内容」、「履修に当たっての心構え・留意点」などについて理解する ・授業の構成や全体の計画について理解する ・授業への積極的な参加を促し、知識の効果的な習得を実現するために必要なコミュニケーション力を身に付ける(グループワークによるコミュニケーションのトレーニング)				⑨ (6/19)	【到達目標】 ・「社会保険(医療保険)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.68～p.73 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第3節 社会保険② 医療保険			
② (4/24)	【到達目標】 ・「経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.8～p.17 第1編 経営者の視点 — 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 経営とは何か ～ 第5節 経営戦略②				⑩ (6/26)	【到達目標】 ・「社会保険(労働保険)及び美容師としてのキャリアプラン・役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.74～p.83 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第4節 社会保険③ 労働保険 ～ 第6節 仕事をするうえで考えるべきこと			
③ (5/8)	【到達目標】 ・「美容業の経営」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.18～p.33 第1編 経営者の視点 — 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 業界の概要 ～ 第5節 理容業・美容業の顧客				⑪ (7/3)	【到達目標】 ・「美容業におけるサービス・デザイン」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.100～p.119 第3編 顧客のために — 第1章 サービス・デザイン 第1節 サービスを考えるうえで重要なこと ～ 第7節 新しいサービスをデザインしてみよう			
④ (5/15)	【到達目標】 ・「美容業の経営における資金の管理(資金管理・会計・コスト管理)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.34～p.41 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第1節 資金管理の重要性 ～ 第4節 コストを管理する				⑫ (7/10)	【到達目標】 ・「美容業におけるマーケティング」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.120～p.137 第3編 顧客のために — 第2章 サービス・マーケティング 第1節 理容業・美容業のマーケティング ～ 第7節 情報コミュニケーション技術の活用について			
⑤ (5/22)	【到達目標】 ・「美容業の経営における資金の管理(税金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.42～p.45 第1編 経営者の視点 — 第3章 資金の管理 第5節 税金について ～ 第6節 税金の申告				⑬ (7/17)	【到達目標】 ・「美容業のサービスにおける人の役割」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.138～p.157 第3編 顧客のために — 第3章 サービスにおける人の役割 第1節 接客についての理解 ～ 第9節 問題を深刻化させないための対策・対処			
⑥ (5/29)	【到達目標】 ・「美容業について、人(従業員)のマネジメント」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.48～p.61 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第1章 人という資源 第1節 人という資源とは ～ 第6節 労働者の権利				⑭ (8/21)	【到達目標】 ・「美容業の運営管理」の全般について復習し、要点の確認・知識の定着を図る [教科書の範囲] p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑦ (6/5)	【到達目標】 ・「美容業について、従業員の健康・安全・責任」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第1節 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任 p.62～p.63 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第3章 健康・安全な職場環境の実現 第1節 健康管理の基礎 ～ 第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題 p.84～p.97				⑮ (8/28)	【定期試験】 ・「美容業の運営管理」の全般について、試験による習得度の測定を行う [出題範囲] 教科書 p.8～p.157 第1編 経営者の視点 ～ 第3編 顧客のために			
⑧ (6/12)	【到達目標】 ・「社会保険(公的年金)」に関する基礎的知識を習得する [教科書の範囲] p.64～p.67 第2編 人という資源 従業員としての視点 — 第2章 従業員としての視点から 第2節 社会保険① 公的年金				【成績評価の方法と基準】 ・成績評価の方法 小テストと定期試験の合計点数により評価する ・成績評価の基準 [評価配分] 小テスト：40点 定期試験：60点 合計：100点 [評価区分] 【合格】A(90～100点) / B(80～89点) / C(70～79点) / D(60～69点) 【不合格】E(出席不良・評価資格喪失) / F(0～59点)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
<授業への出席> 欠席、遅刻、早退がないように心掛けること <授業への参加態度> 講師と学生、学生同士の良好なコミュニケーションと協調性に留意すること <必要な持ち物> 教科書、筆記用具・ノートなど									

講義シラバス

科目名	保健 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	岡田弥生	講師 プロフィール	看護師、母としての経験を活かし、いろいろな意味で皆さんのベルの母になれたらいいです。						

【授業を通じての到達目標】

美容業に従事する者にとって密接な関係にある保健について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。

【学習内容】

美容師に必要なの人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/19)	【到達目標】 自己紹介を通してを互いを理解していく。なぜ保健の学習が必要か	⑨ (6/20)	【到達目標】 循環器系のなりたち、仕組みを理解する
② (4/25)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の体表解剖学について理解する。(学	⑩ (6/27)	【到達目標】 血液循環についての知識を深め理解する(確認テスト)
③ (5/9)	【到達目標】 骨格器系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑪ (7/4)	【到達目標】 呼吸器系の成り立ちについて理解する(学習後確認テスト
④ (5/16)	【到達目標】 筋系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑫ (7/11)	【到達目標】 消化器系のあらましについて知識を深め理解する
⑤ (5/23)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑬ (7/18)	【到達目標】 消化器官の働きについて理解し知識を深める。
⑥ (5/30)	【到達目標】 神経系について理解する(学習後確認テストの施行)	⑭ (8/22)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認し定期
⑦(6/6)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認。	⑮ (8/29)	【到達目標】 【定期試験】50 人体の構造及び機能から出題。
⑧ (6/13)	【到達目標】 血液免疫系知識を深め理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	衛生管理 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30	時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生			
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として保健、衛生管理を担当しています							
【授業を通じての到達目標】										
美容師は髪や頭皮など人の身体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる										
【学習内容】										
美容師に必要な衛生管理の知識として、「公衆衛生」「環境衛生」「感染症」を教科書を中心として解説し、練習問題を行う。										
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
衛生管理教科書・プリント										
日時	授業計画				日時	授業計画				
① (4/18)	【到達目標】 シラバスを通して衛生管理の学習内容が理解できる。公衆衛生とは何か。どのように発展してきたのか歴史を学び、わが国の公衆衛生の歩みについての知識が習得できる。				⑨ (6/20)	【到達目標】 衛生害虫とネズミに関する知識が習得できる。 環境保全の水質汚濁について理解できる。				
② (4/25)	【到達目標】 歴史の中の美容師と公衆衛生について知ることができる。公衆衛生の第一機関としての役割を担っている保健所のはたらきと、美容師とのかかわりについて知識が習得できる。				⑩ (6/27)	【到達目標】 人と感染症の歴史に関する知識が習得できる。 感染症と法律、感染症の分類に関する知識が習得できる。				
③ (5/9)	【到達目標】 母子保健について理解できる。 成人・高齢者保健について理解できる。				⑪ (7/4)	【到達目標】 病原微生物 微生物の種類、形、大きさ、構造に関する知識が習得できる。				
④ (5/16)	【到達目標】 成人・高齢者保健について理解できる。 精神保健について理解できる。				⑫ (7/11)	【到達目標】 病原微生物 微生物の増殖と環境の影響に関する知識が習得できる。				
⑤ (5/23)	【到達目標】 環境衛生とは何か。目的や意義、環境衛生活動について理解できる。				⑬ (7/18)	【到達目標】 感染症の予防 微生物の病原性と人の感受性、汚染、感染及び発病などに関する知識が習得できる。				
⑥ (5/30)	【到達目標】 空気環境・温熱環境と人の健康の関わりについて知識が習得できる。				⑭ (8/22)	【到達目標】 感染症予防 免疫と予防接種、感染症の発生の要因、感染症予防の三原則に関する知識が習得できる。				
⑦ (6/6)	【到達目標】 衣服・住居の衛生に関する知識が習得できる。				⑮ (8/29)	【定期試験】60 定期試験				
⑧ (6/13)	【到達目標】 上・下水道と廃棄物に関する知識が習得できる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
授業出席・遅刻の管理と指導。忘れ物、授業態度の指導										

講義シラバス

科目名	文化論 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	1年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験の科目である文化論の内容を計画的に学ぶことで、スタイリストとしての知識を深めることを目標とする。

【学習内容】

文化論の内容を理解し、美容業の歴史、日本のファッション文化史について学び、過去問題の意図を読み取り解答を導けるようになる。

【使用教科書・教材・参考図書】

教科書文化論、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/17,19)	【到達目標】 文化論が国家試験の必須科目であることを理解する。美容がどのように社会と関わっているかを考える。美容の定義、語義について学ぶ。 身近な美容ファッションについて調べ、文化論にふれる。	⑨ (6/19,21)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する③
② (4/24,26)	【到達目標】 日本の理容業・美容業の歴史について、その発生・制度・動向を学び理解する。	⑩ (6/26,28)	【到達目標】 現代 I【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する①
③ (5/8,10)	【到達目標】 縄文・弥生・古墳時代、古代【飛鳥・奈良・平安時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び、理解する。	⑪ (7/3,5)	【到達目標】 現代 I【1945～1950年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②
④ (5/15,17)	【到達目標】 中世【平安末・鎌倉・室町・戦国時代】近世 I【戦国末・安土桃山時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑫ (7/10,12)	【到達目標】 現代 II【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑤ (5/22,24)	【到達目標】 近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑬ (7/17,19)	【到達目標】 現代 II【1960年代～1970年代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。
⑥ (5/29,31)	【到達目標】 近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑭ (8/21,23)	【到達目標】 前期内容の振り返りと、練習問題の解答、解説
⑦ (6/5,7)	【到達目標】 近世 II【江戸時代】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する。	⑮ (8/28,30)	【定期試験】60 日本のファッション文化について特徴を理解しているか。4択問題を中心に出題。
⑧ (6/12,14)	【到達目標】 近代【明治・大正・昭和20年まで】の髪型・化粧・服装について特徴を学び理解する②	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻・欠席・教科書等の忘れ物に注意し、授業に参加しましょう。